

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	福井県生活協同組合	代表者	竹生 正人	法人・事業所の特徴	法人の福祉理念「あなたらしさいつまでも」を念頭に、ご利用者・ご家族・地域の方に対してお役立ちができるよう努めています。 ご利用者の「～したい」の思いを聴き、その人らしさを支える事を目標に、「生協10の基本ケア」に基づいた生活リハビリを行い、出来ることを増やすことで、「ご本人が望む暮らし」が実現出来るよう職員一丸となって取り組んでいます。 また、「結のカフェ（認知症カフェ）」、「長生サロン」を毎月開催したり、「多目的室」を地域住民に貸し出したりすることで、地域に密着した事業所をめざしています。
事業所名	県民せいきょう 小規模多機能ホーム 大野きらめきハウス	管理者	松田 誠子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	4人	人	2人	人	人	2人	人	9人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>ミーティングノートに、月毎のカレンダーを貼り、月の出来事を記入していきます。</li> <li>各項目の改善できなかった事を年間目標にして、取り組んでいきます。</li> <li>小規模会議を毎月1回開催し、ご利用者の情報を共有していきます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>月カレンダーを使用したが、ミーティングノートと、一緒に保管する事ができず、共有出来ていない事もありました。</li> <li>年間目標を決め、レクリエーション行事予定を立てたが、計画通りに実施できませんでした。</li> <li>小規模会議では、お泊りが増えたこともあり、職員の参加率が低下しました。また内容も、新規利用者の受け入れの会議が主になってしまいました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>限られた職員の中で、全般的に介護ができています。</li> <li>改善に向けて取り組んでいます。</li> <li>月ごとに目標を絞り取り組んだら、評価が上がるのではないかと。</li> <li>外部評価をしているが、「あまり出来ていない」、「ほとんど出来ていない」の箇所にチェックがある事に驚きました。</li> <li>職員と関われるのは、送迎時にしかないため、取り組みが出来ていたかどうか等、評価がわからないのが本音です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ミーティングノートを月毎の1冊にし、最初のページにカレンダーを貼り、細かく月の流れを記載します。また、月毎の目標を記載し、その目標の進捗に関する意見交換も出来るようにしていきます。</li> <li>小規模会議は、日程を固定し、参加率に関わらず開催します。話し合う内容を事前に提示し、欠席者は事前に意見をノートに書き、会議後に内容を確認します。</li> <li>職員の自己評価が自信を持って出来る様に、毎月少しずつ取り組みます。</li> </ul>
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご家族との交流がもてるように、家族会を年に2回行います。</li> <li>地域の方や、ご利用者ご家族が気軽に立ち寄れるように、展示会（日頃の写真・制作物）や食事会等の催しを企画します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家族会を年2回開催し、ご家族に展示物や、日頃の過ごし方を見て頂く事が出来ました。</li> <li>また、開催後のまとめや、アンケートなどを配布する事が出来ませんでした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>きらめきの玄関が2つあり、分かりづらいです。</li> <li>通所のフロアには「結カフェ」が入っているが、小規模には入っていない為、外部の人に分かるようにしてほしいです。</li> <li>施設の中の見学をしたことがないです。ご利用者ご家族には分かるが、外部には分からないと思います。見学会を開いてはどうでしょうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家族会を年2回（6月、11月）継続し、日々のご利用者の様子やレクリエーション活動での制作物を見て頂き、ご家族と話す機会をつくります。</li> <li>地区の方々に小規模を知って頂く為に、小規模で『小規模新聞』の発行したり、『気まぐれ喫茶』を開き、きらめき周辺地区の住民と交流を図ります。</li> <li>大野きらめきの見学会を開き、取り組みを紹介していきます。</li> </ul>

<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内の行事にご利用者と一緒に参加して、顔が見える関係作りをしていきます。</li> <li>・認知症カフェの来客者に『小規模』の案内を行います。</li> <li>・長生サロン、結カフェ（認知症カフェ）に参加し、地域の中で楽しく過ごせるように交流をはかっています。</li> <li>・毎月1回は外出して、近くの喫茶店や買い物等に出かけ、ご利用者の気分転換をはかったり、季節を感じて頂けるようにします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内への行事には利用者様と一緒に、避難訓練や、お祭りに参加する事ができました。</li> <li>・認知症カフェの開催時に、『小規模』の説明を行いました。</li> <li>・長生サロンや結カフェ等に参加し、顔を知って頂ける様になり交流をはかる事ができました。</li> <li>・外出行事は、天気の良い日や職員の多い日には予定を立てて、出かける事ができ、利用者様のお気分転換をはかる事ができました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設内で面識がない職員でも挨拶をしてくれる為、気持ちが良いです。</li> <li>・新規の人は、小規模に行きにくい。「小規模とは何か」を知ってもらえるようにしてほしいです。</li> <li>・ボランティアにきた場合は、どのような事をするか良いのかわからない。話し相手やレクリエーションのお手伝いでよければ他の福祉委員にも声をかけてみます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月1回の外出をして、喫茶店や買い物等で、ご利用者が直に季節を感じて気分転換をはかる事が出来るようにします。</li> <li>・小規模へのボランティアの募集は、内容を明確にした上で、生協の組合員（福祉委員）や地域住民に呼びかけていきます。</li> <li>・町内の行事にご利用者と一緒に参加し、気軽に話せる関係作りを継続していきます。</li> </ul>
<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方に、きらめき応援団のチラシを配布し、広報と募集を行います。</li> <li>・利用者と一緒に地域の行事に参加し、地域に溶け込んでいきます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・きらめき応援団のチラシを配布しましたが、新しく会員を集める事はできませんでした。</li> <li>・地域行事である名水マラソンや・祭り・RUN 伴等へご利用者と一緒に参加できました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小規模とはどんな事業か、知ってもらおうのが、第一の課題だと思います。他の地域の施設では、チラシを回覧しています。</li> <li>・大野市では、チラシは介護を必要とする人だけに配布しています。</li> <li>・地域の行事とは、どこまでを言うのですか？近所なのか、大野市内なのかかわからないですね。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『小規模』の認知度を高める為、「どのような活動をしているのか」がわかる手作りの新聞を年2回発刊し、天神町の方を対象に回覧をしていきます。</li> <li>・ご利用者と大野市の行事に参加し、地域に溶け込んだ生活作りをしていきます。</li> </ul>
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご家族に運営推進会議の報告を行い、気軽に参加して話し合えることを知って頂きます。</li> <li>・曜日についてはご家族の参加しやすい曜日を確認します。</li> <li>・新年度より、県民せいきょうの福祉委員（組合員）にも参加をお願いし、地域の方やご家族との連携強化をはかります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・きらめき通信で会議の開催日や話し合った内容を報告しましたが、なかなか浸透できませんでした。</li> <li>・開催曜日は、ヒアリングの結果、土曜日となりました。</li> <li>・福祉委員の参加により、他の事業所の話を聞かせて頂いたり、きらめきのボランティアに協力を頂けるようになりました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議を活かし、町内を交えた祭りをしている施設もありますよ。</li> <li>・地域の方々に、相談が出来る窓口がある事を伝えたいし、職員さんも伝えられるようにしてほしいです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・きらめき通信にて、運営推進会議の開催日、報告の内容を載せ、ご家族が気軽に参加して、色々な意見を頂けるようにします。</li> <li>・喫茶や認知症カフェの際、また小規模新聞等で、近くにどなたでもすぐに相談できる窓口がある事を案内していきます。</li> </ul>
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練の案内をご家族にも行い、参加協力をお願いしていきます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練の日程を事前にご家族にお伝えする事ができず、きらめき通信での事後報告になってしまいました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民と一緒に避難訓練しているが、ご家族の参加はないですね。</li> <li>・スプリンクラーが設置されたのは、知らなかったです。</li> <li>・災害時についての自宅での対策も必要ですね。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防火訓練に関し、ご家族に事前案内を行い、参加の呼びかけを行います。</li> <li>・緊急時の対策として、ご家族、にも、消防署講師のAED講習の参加を呼びかけていきます。</li> </ul>